

放置竹林、竹あかり解決案

ウェブサイトで繋がる地域環境



後藤 祐貴 (ごとう ゆうき)
静岡県立御殿場南高等学校 2年

放置竹林、竹あかり解決案

ウェブサイトで繋がる地域環境

後藤 祐貴



活動概要

活動の内容

私の地元地域である駿東地区でも放置竹林問題は大きな課題となっています。特有の伝統工芸品の製造に、放置竹林の材を利用することを考えました。伝統工芸品は華やかさ、彩、和の要素など多くの人々を引き付ける魅力があります。イベントを地域で開催し、放置竹林について解説したり、環境保全についてより詳しく知れる専用のWEB

フォームやサイトを用意したり、その情報の入ったQR

コードを添付したパンフレットを配布することにより、一人でも多くの人に放置竹林の課題、活動について知ってもらう活動をしました。

活動の特徴(新規性・発展性)

新規性としては、地域環境、課題についての解決策や従来への活動に比べ、より地域の一体感を深めることです。

地域企業、団体、さらには学校や行政機関を放置竹林、環境保全を通じてリンクさせ、マンパワーを効果的に発揮できるようになります。発展性としては、活動に関わる人や興味がある人がアクセスできるツールで連携を広げて、さらに規模を大きくした新規事業を行えるようになることです。

活動の成果

NPO法人みらい建設部さんなどの地元企業の方々と連動したイベントの開催。

作王子の竹あかりイベントに手伝いとして参加。

ごてんばの日、市民文化会館での放置竹林について知れる、あかりブースの設営。

WEBサイト開設。

竹あかりのライトアップ企画、イベントの開催。

WEBサイトでのイベントに対するアンケート実施

長泉町<富士竹類植物園>の二協力杏受付

課題の設定と意図

昨年度のオリエンテーション合宿、地域探究アワード、地方ステージ参加の機会を通して、全国的に近年、問題

視されている放置竹林問題について探究をはじめました。その後、NPO法人や地元企業の方の指導を受け環境保全活動に定期的に参加し、その様子を学校の探究の時間に発表しました。昨年度の実践活動を終えたが、個人的な探究心をもって、環境保全活動への参加は継続しました。その過程で出会った東京大学大学院に在籍している女サロン会員の西山さんから、何、何害についてを深くご教授いただき、自らの知見を深める中で、あらためて放置竹林問題は深刻で、その解決を成し遂げる最前線の地域に私の地元をしたいと強く思いました。このようなことから今年のオリエンテーション合宿にも参加し、課題設定についてをもう一度深く考え実践したいという思いで戻ってきました。

課題解決のための仮説と計画

この放置竹林問題を全国的に解決するためには、まず前例として一部の地域での解決が必要だと思いました。自分の住んでいる地域では、なぜ熱心に活動して放置竹林問題を解決しようとしている方々がいるのに問題が解決していないのかと考えた際、やはり膨大な放置竹林を保全するに至ってない、つまりは規模が小さいからだと考え、地元地域の住民の方々にも参加してもらえればと考えました。私自身昨年度までこの課題について深い部分まで知れていなかったこともあり、まずは多くの活動に参加し、自分の知見を高めることを目指しました。そして次に地域の方々を知ってもらう機会を考えましたが、ただ聞くだけの受動的な状態では聞いている人に重要性が伝わらないと考えました。そこで課題に係る魅力的なイベントを開催し、綺麗な景色や体験などとともに、課題解決の重要性を訴えることで切実さが伝わり、協力や支援を得る一歩になると思い、上記の計画を立てました。



活動で工夫できたこと

地域内におけるコミュニティでの、人との縁を大切にすることを考えました。環境保全活動中に会った人から作に詳しい専門家の方を教えてください、さらにその方の所属するコミュニティを紹介していただいたりというように、つながりと出会いを大切に広げていけたのが活動で工夫できたことだと思います。さらに、イベントなどにおいて運営、企画側として活動することで、自分には気づけないようなことを見つけたり、活動を見てもらうことで意見をいただくことができました。

さらに参加者からアンケートの協力をいただき、その内容を次に生かすことで期待に沿えるようにできました。



活動で得た学び・気づき

まず地元の環境保全活動をしている企業・団体の方々のマインドや整備活動、保全活動の環境維持に務める素晴らしさに気付きました。

そして放置林問題について様々なイベントやWEBフォーム、サイトを通じて多くの人に知ってもらい、保全活動に参加したいという声や、もっと放置林の作材を利用したあかりのライトアップを見たいというような意見をいただくことができました。課題解決のためには多くの人の力が必要ではないかという仮説を立てたことが、実際に課題解決につながっていることにも気付きました。

今後の展望・新たな取組み

今回地域課題として地元、駿東郡の放置林問題解決のための手立てを考え実践し、その基盤づくりに関わることができました。今後の展望としては、この基盤をもとに動画を通じた活動の紹介を続けたり、作あかりライトアップイベントの規模を拡大し、地域の多くの駅などで開催することによって、さらに多くの人々、企業・団体の協力を得て、手つかずの林を地元である駿東郡からなくしたいと考えています。

1. 地域探究アワードエントリー情報

| | | | | | |
|---------|---|---------|----|------|----|
| エントリー希望 | 有 | エントリー単位 | 個人 | ブロック | 中部 |
|---------|---|---------|----|------|----|

2. オリエンテーション合宿及び実践活動の基本情報

| | | | | | | |
|-------------|--|--------|-------|------------|------------|---|
| 合宿実施先 | 国立中央青少年交流の家 | | 修了日 | 2023/7/19 | カリキュラムのタイプ | A |
| フィールドワークの内容 | 放置竹林問題についてを実際に自分達で保全活動をすることにより学ぶまたカンファレンスの効果的なやり方を学ぶ | | | | | |
| 実践活動期間 | 2023/9/10 ~ 2023/11/20 | | | | | |
| 活動のタイプ | 新たな活動 | | | | | |
| 共同実施者 | 無 | | | | | |
| 協力者 | 主な協力者 | | | 協力内容 | | |
| | 所属 | 御殿場市役所 | | 実践活動案設立の補助 | | |
| | 氏名 | 芹澤 | | | | |
| | 所属 | | | | | |
| | 氏名 | | | | | |
| | 所属 | | | | | |
| 氏名 | | | | | | |
| 協力者総数 | 1名 | | 協力団体数 | 1団体 | | |

3. 実践活動の記録

(1)総活動日数 全 36 日

| | | | | | |
|-----------|-----|-----------|----|-------------|-----|
| 事前:準備・打合せ | 20日 | 本番:メインの活動 | 6日 | 事後:ふりかえり・報告 | 10日 |
|-----------|-----|-----------|----|-------------|-----|

(2)活動成果の発信等

| 媒体 | 方法 | 回数 | 概要・備考 |
|-----|-------|----|----------------|
| その他 | 自ら発信 | 1回 | 御殿場の日での発表 |
| その他 | 取材された | 1回 | ラジオ御殿場55FMでの発表 |
| | | | |

(3)主な活動記録

| 活動日時 | 区分 | 活動場所 | 活動内容 |
|---------------|------------|----------|-----------------------------------|
| 9/10 ~ 9/15 | ①事前学習・打合せ等 | 御殿場南高等学校 | 放置竹林問題の解決にむけ、伝統工芸品との掛け算で解決しようと考えた |
| 9/16 ~ 9/16 | ①事前学習・打合せ等 | 御殿場南高等学校 | 竹王子という方から竹あかりの概要、プラン実行経費について伺った |
| 10/21 ~ 10/21 | ②実践活動本番 | 御殿場市役所 | 展示期間の場所の許可をいただいた |
| 11/20 ~ 11/20 | ②実践活動本番 | 自宅 | ウェブサイト立ち上げ |
| | | | |